

令和2年度 「年度末学校関係者評価」(外部評価)

	項目 (重点としたものに○)	学校の目標達成状況及び学校の取組の適切さ、改善方策について等の意見(外部評価者からの指摘を基に記載)
教育環境の 充実	①学校安全の推進	<p>コロナで大きな影響を受ける中、児童の安全を考えながらも充実した授業を行うには例年以上のご苦勞があったと思う。日課表はよく練られ工夫されたもので、その中には休み時間の「密」の回避策により、校庭等で児童が思い切り活動できたこと、手洗いにより他の流行病減少等、コロナ後にも生かせるものが多くあるように感じた。</p> <p>GIGA スクール構想への準備が徐々に進みつつあることは望ましいことであると同時にリスクについて子どもたちに理解させることは非常に大切であると感じているので今後このことについての指導を十分にさせていただきたい。</p>
	②教育情報化の推進	
	③地域との協働推進	
	④学校評価を生かした学校づくり	
I 学習指導の 充実	①授業改善の推進	<p>コロナ休校で ICT を活用した教育が一気に進んだという印象。今まで、学校の授業のほとんどは先生と黒板と教科書・ノート・自分と友達だったが、学習環境の中にタブレットやパソコンが入ってきて、子どもたちも喜んでいることと思う。何よりよいと思うことは、小学生から情報モラルの教育等ができることだと思う。</p> <p>今は、コロナ禍のため難しいと思うが、状況が許されれば外部から講師を招いて体験授業などを増やしてほしい。また、子どもたちが外に出向く体験活動もできたらやっていただきたい。</p>
	②健康体力づくりの推進	
	③体験活動の充実	
	④今日的課題への取組	
II 支援の充実	①支援環境の充実	<p>支援ニーズを持つ児童が増えているというのは、先生方はたいへん苦勞されていることと思う。保護者がそのことに対して認め、支援を受けたいという気持ちにならないと踏み出せないところもあるかと思う。</p> <p>予算上、すぐに人をつけられない厳しさがあると思うが、まずは保護者との信頼関係を大事にしてもらいたいと思う。幼・保・小・中ともっともっと連携を深くし、支援が途切れないようなつながりを確保していただきたい。</p>
	②安心できる居場所づくりと絆づくりの推進	
	③問題行動対策・不登校対策の推進	
	④幼・保・小及び小・中の連携推進	
III 学校組織の 充実	①学校・学年・学級経営の充実	<p>市の中で一番児童数が多い学校なので、先生同士の情報共有はたいへんと思うが、学年・もしくは兄弟で問題行動等があるときは、些細なことでも担任一人で抱え込まず、共有・相談できる環境を作って行ってほしい。</p>
	②研究・研修の充実	

逗子市立逗子小学校

	③信頼に基づいた指導の推進	「コロナ禍」において、制約も多く、先生方の負担も増えたことと思うが、外部や保護者にも協力体制を求めている。
	④働き方改革の推進	